

令和6年度 第1回 日野市農業懇談会 要点録

日 時 令和6年5月28日(火) 午後2時~4時 日野市役所 4階庁議室

出席者 12名

- 1 旗野 利之 日野市農業団体連合会会長
- 2 清水 雄一 日野市農業団体連合会副会長市民公募者
- 3 土方 京子 日野市女性農業者・みちくさ会会員
- 4 岩沢 宏 日野市農業委員会会長
- 5 金子 峰男 日野市農業委員会会長職務代理者
- 6 小林 和郎 東京都南多摩農業改良普及センター所長
- 7 野瀬 友利 東京都農業振興事務所農務課長
- 8 田倉 勉 東京南農業協同組合日野支店指導経済課長
- 9 河野 一法 東京南農業協同組合七生支店指導経済課長
- 10 帆足 千栄子 市民公募者
- 11 因 由利 市民公募者
- 12 木村 奈緒美 市民公募者

日野市 大坪 冬彦 市長

青木 奈保子 産業スポーツ部長

事務局：都市農業振興課長、課長補佐、担当者

1. 開会 (都市農業振興課長)

2. 第9期日野市農業懇談会委員 委嘱状交付式

市長より委嘱状交付、挨拶

3. 自己紹介・会長及び職務代理者の選任について・・・資料No.①第9期日野市農業懇談会委員名簿

- (1) 自己紹介
- (2) 会長：旗野利之委員（委員からの推薦）
- (3) 会長職務代理者：帆足千栄子委員（会長からの指名）

4. 第4次日野市農業振興計画・前期アクションプランについて

・・・・資料No.②・③ 第4次日野市農業振興計画・前期アクションプラン【概要版】・【冊子】

事務局による資料No.②・③による説明

- (委員) 出来上がった第4次計画を周知する機会は設けたのか？
- (事務局) 認定農業者へ【概要版】を送付した。直接説明する機会は設けていない。
- (委員) 生産部会の総会等で、特に新しい取り組み等の説明をしてはどうか？
- (委員) 日野市のホームページには全文掲載しているのか？
- (事務局) 【概要版】【冊子】ともにPDFデータを掲載している。

(委員)もう少しPRが必要。【概要版】は全農家へ配るぐらいあるのか？農協では回覧しているのか？

(事務局) 認定農業者へは送付している。全農家分はないので、増刷が必要。

農協の方で周知する機会がないか？

(委員) 農協の支部会回覧等、機会が無くはない。農業者全員へ渡れば、説明する機会も出来る。

(委員) ホームページは見ない方が多いから、農協が訪問した際に対面で説明してはどうか？

(事務局) 周知の方法をこれから考えていく。

(委員) 日野市の農業全体で何か意見はないか？

(委員) 全体的に高齢化が進んでいると感じる。そんな中でも若い人同士の集まりはあり、話す機会はある。20年くらい前の就農した頃は販売が大変だったが、現在は何を作ってもそれなりに販売先に困らない。これから就農する若い人たちにノウハウ等を伝えていきたい。

(委員) 米農家として、水田の置かれている環境が厳しくなったと感じる。学校給食への供給は続けていきたい。新規就農者でお米をやっている方がいるので頑張ってもらいたい。女性農業者「みちくさ会」も高齢化で会員数が減ってしまった。新規会員を増やしたいが難しい状況だ。

(委員) 第4次計画が計画倒れにならないように、私たち委員も周知に努めるべきだ。

(委員) 後継者のいない農家の農地などを貸借がしやすい借り手のリストアップを作ってほしい。

認定農業者や学校給食供給農家以外の小さな農家さんに対しても何か支援が必要なのではないか。

(事務局) 練馬区の職員が農業者500戸訪問すると聞いた。日野市もすぐには無理だが、何年かかけて出来ないか参考にしたい。

(委員) 耕作農地が減ってしまう原因は？

(委員) 相続税の支払いでの売却、区画整理事業の減歩などがある。

(委員) 日野の野菜を知ってもらうために、市内のお店でSNS等で農家さんの紹介をしている。若い世代へアピールするのは、そんな方法が一番いいと思う。市内スーパーがリニューアルされての地元野菜のコーナーができた等を見ると頑張っているなど感じる。

(事務局) 日野市はX(旧ツイッター)を始めたところだ。

(委員) 東京都の施策で見えベジ(直売GO)というカメラ設置をしている。日野市でも取り入れている農家があり、買い手は直売所で何が売っているか分かり、売り手は足りないものを補給するメリットがあるシステム。

(事務局) 他市視察の際に、若手農業者がインスタを活用しているのを見た。高齢の農家側からのSNS発信が難しくても、農商連携として飲食店側で発信してもらえると若い人にもPRができる。

(委員) 学校給食については、学校に納めるため八百屋や魚屋が減り、業者選びがとても難しい状況。地元野菜の目標値達成には、学校給食供給に参加する農家を増やし使える野菜も増やして頂きたい。

(事務局) 学校給食への地場産野菜の供給についてJA東京南がコーディネーター及び運搬支援として関わっているので、今後はJAが扱う農産物も出せる可能性もある。

(委員) 農地が減り続ける中で、販売農家以外の潜在的農家も多いのが現実だ。しかし、地域で何人が集まって無人直売を始めた例もあるので、行政等の支援で販売農家のハードルを下げること、日野の農業にも希望が出てくると思う。

(委員) 同じ意見となるが、JAの組合員数が800人程いる中で、本気で頑張っているのが認定農業者数だと思う。5年ほど前に直売所「みなみの恵み」を立ち上げる時、出荷品目・出荷量を確保するため、認定農業者以外の何人かの農家に声をかけて荷造り等を指導して出荷を始めた例もある。自

分たちが気付かない農家さんの情報があれば栽培技術等を指導し出荷者を増やしていける可能性はある。

（委員）東京都の農業振興プランは、都市農地の保全のため認定農業者を含めた稼ぐ農家を支える施策を前面に出し補助事業の多くは認定農業者限定となっているため、東京都の農地の半分を持っている自給的農家は対象から外れている。今は稼げていない農家に対する支援として西多摩、南多摩の普及センターで個別に行っていた定年を機に就農する対象者向けの実践養成セミナーを区部でももっと開いていく。また、今年は小平の中央農業改良普及センターを廃止し、新たに区部と北多摩にセンターを設け、普及員51名の体制となったので巡回指導の回数を増やしたい。来年度は西多摩、南多摩にも増やしていく。東京都は稼げる農家への支援は勿論のこと、それ以外のステップアップが必要な農家へも支援していきたい。

（委員）市民委員として農業に今日は色々な意見を聞いて良かった。

（委員）今回の意見を次回の懇談会へ反映してほしい。

5. 閉会

（事務局）次回の第2回日野市農業懇談会の開催は令和7年3月の予定。内容は令和6年度の農業振興計画の実施状況報告。

（都市農業振興課長） 閉会挨拶